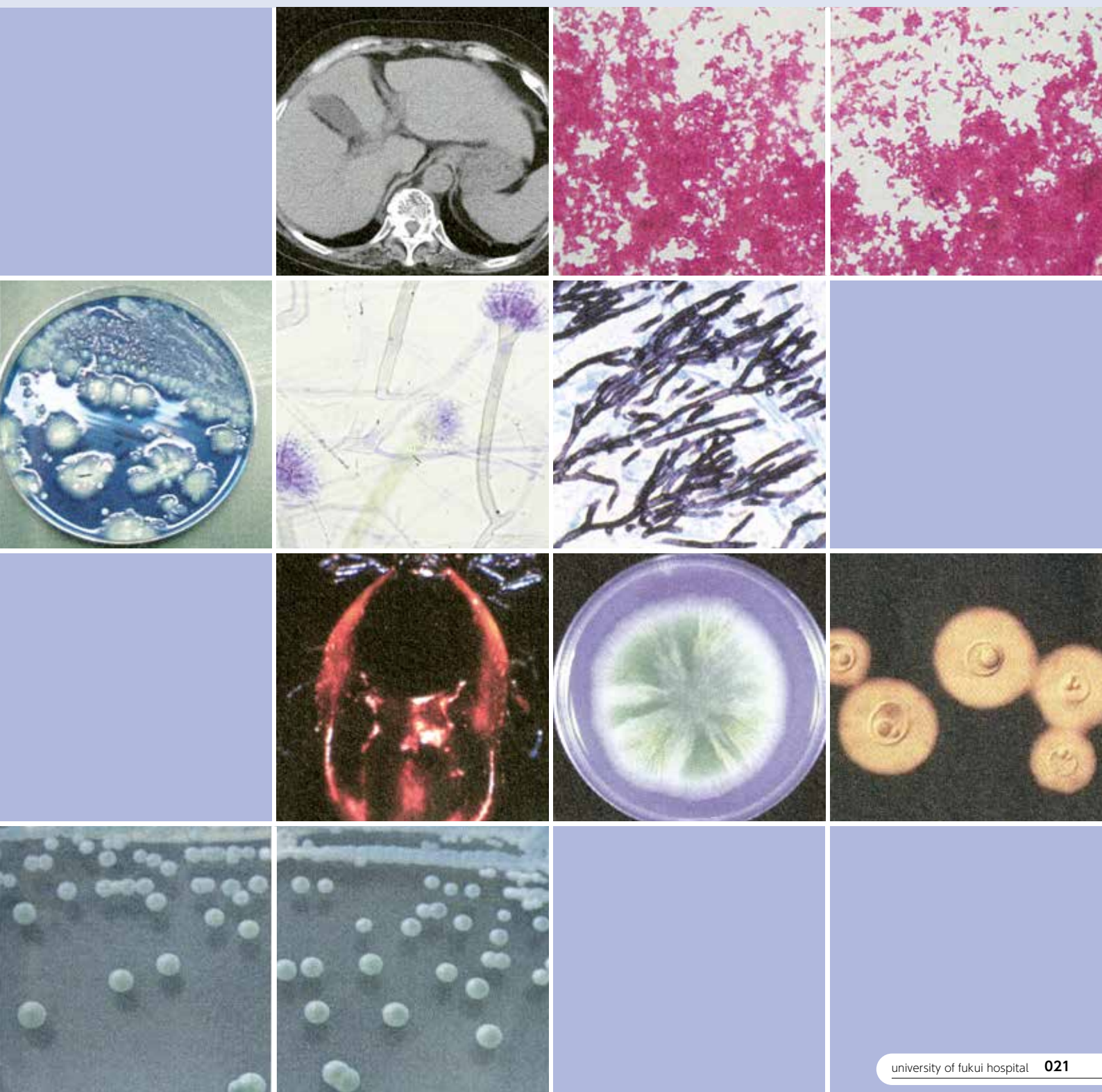


感染症・膠原病内科



感染症新時代

COVID-19やダニ媒介性のSFTSなど新興再興感染症や様々な耐性菌の出現が相次ぎ今や感染症は医療において非常に重要な位置を占めています。当科では、臓器や病原体にとらわれずに全身的に診ることができる感染症専門医を養成しています。

- Infection Control Team (ICT)として院内感染症の発生状況を常に把握し、適切な介入を行っております。
- Antimicrobial Stewardship Team (AST)として、抗菌薬の適正使用を専門的に管理し、必要に応じて処方医に支援を行っております。
- 薬剤部及び検査部と毎日ミーティングを行っており、迅速な菌種同定と薬剤感受性から抗菌薬を選択し、PK-PDの観点から最適な投与ができます。
- 質量分析法を用いて敗血症の早期確定診断を行うことができます。

更に基礎研究の分野では、感染症と生体防御に関連するサイトカインネットワークに関する研究で全国的に注目を集め、臨床研究の分野ではfebrile neutropenia (FN) に対する抗菌薬の選択などで良好な成績をあげています。

Infection Control



Immune Control

近年生物学的製剤の登場により関節リウマチの治療は劇的に進歩しました。当科では、適切な時期に最善の治療法を選択できる膠原病内科医の養成をめざします。

- 膠原病の診断と合併症の評価
- 治療方針の決定と全身管理
- 治療に伴うadverse effectの管理

自己免疫疾患の患者さんは良医にめぐり合えるかどうかで一生を左右されます。当科では整形外科・腎臓内科・皮膚科などあらゆる診療科と連携し、最新の医療の提供を行っております。

03 感染症・膠原病内科

科長 (研修統括者)

岩崎 博道
出身大学 福井医科大学（昭和61年卒）
専門分野 感染症学、臨床免疫学、血液学

診察内容

感染症一般
膠原病一般
HIV／エイズ診療
当科受診希望者の診療

診療科の 特色

新設診療科（2006年開設）
感染症診療の基本を学ぶ
不明熱、全身性炎症反応症候群の診断と治療
エイズ診療の実践
MRSA感染対策、針刺し事故対策（感染制御部との協力体制）
膠原病の診断と治療

特色ある 診療内容

1. 日和見感染症
2. 輸入感染症
3. HIV感染症
4. 生物学的製剤による関節リウマチの治療
5. 院内感染対策
6. ダニ媒介性疾患

診療科医師
について

登録医師数：

14名（他大学出身者 3名）

卒業大学の内訳：

福井大学／12人

富山医科薬科大学／1人

京都府立医科大学／1人

*血液腫瘍内科併任の医師を含む。

主な研究内容：

日和見感染におけるサイトカイン・ネットワークとゲノム診断
病院のinfection control

教職員募集
について

定 員：特に定めていません。 出身大学は問いません。

申込締切：病院の締め切りに準ず。

選考方法：面 接

説明会の日時、場所、申し込みの締め切り：

希望者には適宜連絡します。連絡先をご参照下さい。

特色、雰囲気など：

とにかく感染症や膠原病に興味のある仕事に熱心な方を求めています。
血液・腫瘍科との連携も可能です。

教室での環境について：

採用の時期・卒後年数・出身校による区別・差別は一切ありません。

研修・勤務プログラム

	年数	プログラム	大学院への入学状況
初期研修	1年目	初期研修	原則なし(希望により考慮)
	2年目	同上	同上
	3年目	専門医準備研修可能(希望期間研修)(このコースをとるものは以後1年おくれで進行)	同上
専門医養成コース	3年目	大学病院勤務、一部地域病院・専門病院赴任	受け入れあり
	4年目	地域病院・専門病院赴任	同上
	5年目	5±1年で大学院あるいは専門研修医(両立も可)として専門的診療・研究開始(専門分野は希望聴取の上決定)	同上
	6年目	内科専門医取得	同上
	8年目	関連専門医取得	同上



(大学での診療・研究を望まない者は8年目以降へ)

3 ~ 5 年 目 降	<p>専門的診療・研究</p> <p>1)学位取得(3~6年)</p> <p>2)専門医取得</p> <p>一定期間の専門的診療・研究</p> <p>内科専門医(入会后3年)</p> <p>感染症専門医(入会后3年)</p> <p>医真菌学会専門医(入会后5年)</p> <p>リウマチ学会専門医(入会后3年)</p> <p>インфекションコントロールドクター(医師歴5年)</p> <p>抗菌化学療法指導医(感染症専門医かつインフェクションコントロールドクター取得後)</p>
----------------------------	--



(希望と実績により決定)

8 ~ 10 年 目 降	<p>どこの病院であっても感染症専門医・リウマチ専門医のプロとして働けることが目標。最終的ポストについては各医師の希望に添う様、努力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 研究職を希望 ■ 病院の内容を重視 ■ 地域を重視 ■ 開業を希望 など
-----------------------------	--

関連病院・留学先について

- ・テキサス大学MDアンダーソン癌センター, 感染症科(テキサス・ヒューストン)
- ・メイヨークリニック(フロリダ・ジャクソンビル)

認定医・
指導医の
取得状況

診療科等名	職名	氏名	認定医指導医等の名称
感染症・ 膠原病内科	科長 教授	岩崎 博道	日本内科学会認定内科医・指導医 日本血液学会専門医・指導医 日本感染症学会感染症専門医・指導医 日本臨床薬理学会認定医・指導医 ICD制度協議会インフェクション・コントロールドクター 日本輸血・細胞治療学会認定医 日本医真菌学会専門医 日本臨床腫瘍学会暫定指導医 日本がん治療認定医機構 暫定教育医 日本化学療法学会抗菌化学療法認定指導医 日本痛風・核酸代謝学会認定痛風医
	教授	酒巻 一平	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本感染症学会専門医 日本血液学会専門医・指導医 ICD制度協議会インフェクション・コントロールドクター
	教授	浦崎 芳正	日本内科学会認定内科医・指導医 日本血液学会専門医・指導医 日本輸血・細胞治療学会認定医 日本臨床腫瘍学会暫定指導医 日本臨床薬理学会指導医
	准教授	稲井 邦博	日本内科学会認定内科医・指導医 日本血液学会専門医・指導医 日本感染症学会感染症専門医 ICD制度協議会インフェクション・コントロールドクター 日本専門医機構病理専門医
	副科長 助教	廣田 智哉	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本リウマチ学会リウマチ専門医・指導医

連絡先

感染制御部・教授室
(hiwasaki@u-fukui.ac.jp TEL 0776-61-8693)
または
感染症学講座
(sakamaki@u-fukui.ac.jp)
まで